

研修 評価

研修名	看護補助者の活用促進のための看護管理者研修（Ⅰ）				
領域	診療報酬に関連した研修	会場	看護研修センター	受講料	会 員：3,080 円 非会員：6,160 円
対 象	学習段階レベルⅣ～Ⅴ（看護師長職以上及び補助者研修に携わっている者） 募集数(60人)応募数(62人)参加数（62人）会員数(61人)非会員数（1人）				
日 時	令和5年7月25日（火曜日） 09：30～16：00				
ねらい（目標）	効率的な業務運営と良質な看護サービスの提供を目的とした看護補助者の業務範囲や教育および就労環境について理解し、自施設における看護補助者体制整備の一助となる				
講 師	日本看護協会 DVD				
内容・方法	<p>○講義（DVD 視聴）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 看護補助者の活用に関する制度の理解 2. 看護職員との連携と業務整理 3. 看護補助者の雇用形態と処遇等 4. 看護補助者の育成・研修・能力評価 <p>○演習「看護補助者体制整備に関する課題に対する対策案の作成」</p>				
結果・評価 （受講者の意見感想）	<p>○評価方法：アンケート アンケート回収率 61%</p> <p>○自己課題の達成度：95%</p> <p>○受講者の満足度：92%</p> <p>○受講者の理解度：100%</p> <p>アンケートでは、「自部署の看護補助者に対しての研修、教育ができておらず、マニュアルの作成・見直しをしなければならないと思った」「他病院の意見や現状が聞けて参考になった」「GW を行ったことで、聞くだけではなく自施設の問題を考えることができてよかった」などの意見があった。</p> <p>一方で、「もっと他施設の話聞ける時間が欲しかった」や「PC 操作が不慣れで大変だった」という GW に対する意見や、「DVD のため講義内容に質問がしにくい」、DVD を用いた研修に対する意見もみられた。</p>				
企画の評価	<p>○目標・内容：研修のねらいと内容の整合性について、整合性があった：100%の結果から、目標と内容は妥当であった。</p> <p>○プログラムの妥当性：研修目標を達成したことにより妥当であった。</p> <p>○事前準備・当日の運営など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・GW 内容の発表は、各グループに USB を配布し、完成したパワーポイントを保存してもらった。その USB を預かり、教育委員が講師用 PC にパワーポイントを取り込む作業に少し時間がかかった。 ・発表前に、参加者より、GW で作成したパワーポイントを印刷して持って帰りたいと希望があり、急遽協会で印刷して配布することになった。 				
課 題	<p>・今回は研修センターに集合して研修できたので、オンラインで研修するよりもスムーズに進行することができた。しかし、教育委員が進行しなければならないため、事前にある程度研修の内容や、構成について把握できていると、よりスムーズに進行できると考える。</p>				
担当者	教育委員				